

第125回 令和7年11月17日（月）

「のど元過ぎれば熱さ忘れる。」

コロナ禍の混乱が遠い昔のようになってしまいました。中国で発生した（と言われている）ウィルスが世界中に蔓延し、日本では非常事態宣言が出され、学校もすべて休校になりました。

私は当時定時制の教頭だったのですが、机と机の間隔を空けるよう言われ、1時間ごとの手洗いや放課後の換気、消毒と大変だったことを覚えています。定時制は元から生徒数が少ないので密集することは心配ありませんでしたが、学校に足が遠のきがちな生徒がさらに来なくなることは心配でした。

定時制の生徒にとって食堂はとても大切なものだったのですが一時期は閉鎖を余儀なくされました。またオンライン授業などは経済的に厳しい生徒も多いため、すぐの実施は難しく、休校中は膨大な紙の課題を郵送したことを覚えています。

社会では在宅勤務がスタンダードになって、特にIT関係の職業は出勤しなくても仕事ができることがわかりました。郊外に家を構えてテレワークをするスタイルが定着しました。

3密という標語が社会を席卷し、夜の飲み会などがなくなりました。飲食業界は非常に厳しい状況に陥りましたが一部はお弁当販売などで乗り切っていました。

コロナが5類になって久しいですが、夜の賑わいも対面の仕事も復活しています。コロナ前の水準に戻るというフレーズをたくさん耳にします。免疫を獲得する機会が減ったせいかインフルエンザが流行期を拡大しているのが気になりますが、もはやコロナがニュースになることはありません。

北極の氷が溶け続けています。永久凍土に閉じ込められたウィルスが復活する可能性があるということで、いつまた人間にとって脅威となるウィルスが蔓延するかわかりません。

事実鳥インフルエンザはあまり珍しくなくなりました。あのウィルスがヒトーヒト感染になるとコロナより深刻な被害につながると言われています。

ぜひ「のど元過ぎても熱さを忘れない」ようにしてほしいと思います。感染症はペストやコレラ、スペイン風邪といままで多くの人の命を奪ってきました。欧米のゾンビ映画は感染症への恐怖が根底にあると言われています。日本は島国のため少し危機感が薄いかもしれません。

うがいや手洗いを励行していますか？流行期にはマスクをしていますか？薬のあるウィルスが浮遊しているとは限りません。気をつけること、免疫をつけて健康を保つことが一番だと思います。